

アルインコ株式会社
2025年3月期
決算補足説明資料

2025年 5月 2日

証券コード：5933

<https://www.alinco.co.jp/>





2025年3月期業績について

2025年3月期 連結業績



- ✓当連結会計年度の売上高は、コア事業である仮設機材分野での販売とレンタルの売上高増加に加え、物流関連分野においても物流ソリューションや半導体工場向けニーズを着実に捉えたことによって、2期振りに過去最高を更新した。
- ✓利益面においては、コア事業や物流関連製品の売上高が好調であったことや、今年度より実施したレンタル資産の減価償却方法の見直しによる減価償却費の減少によって、営業利益は大きく増加。しかし、金融・為替環境の影響を受けて為替差益が減少したことにより経常利益は減少。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、海外子会社に関わる清算益などの計上があったものの減少となった。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前期比 増減額 (増減率)
売上高	60,717 (100.0%)	57,876 (100.0%)	61,601 (100.0%)	+3,724 (+6.4%)
営業利益	2,420 (4.0%)	1,781 (3.1%)	2,196 (3.6%)	+414 (+23.2%)
経常利益	3,568 (5.9%)	2,879 (5.0%)	2,678 (4.3%)	△201 (△7.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,546 (2.5%)	1,988 (3.4%)	1,959 (3.2%)	△28 (△1.4%)

Copyright © ALINCO, INC. All rights reserved. (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2025年3月期 セグメント情報



- ✓建設機材セグメントでは、売上高が増加。しかし、損益面では円安などによる製造コストの増加によりセグメント利益は減少した。
- ✓レンタルセグメントでは、仮設機材の稼働率が高く売上高が増加。また、レンタル資産の減価償却方法変更によりセグメント利益は大幅に増加した。
- ✓住宅機器セグメントでは、半導体工場向けに販路を拡大した子会社(株)シップの高所作業台や、アルミ製昇降器具の販売が堅調に推移。また、フィットネス関連製品も需要回復の兆しが見え、売上高が増加した。
- ✓電子機器セグメントでは、無線機の販売が堅調に推移した一方、プリント配線板製造子会社の東電子工業(株)ではアミューズメント向けの受注が落ち着き、売上高が減少。しかし、前期に完了した設備増強による営業強化で試作受注が増加し、今後の売上高増加に向けた取り組みが進んでいる。

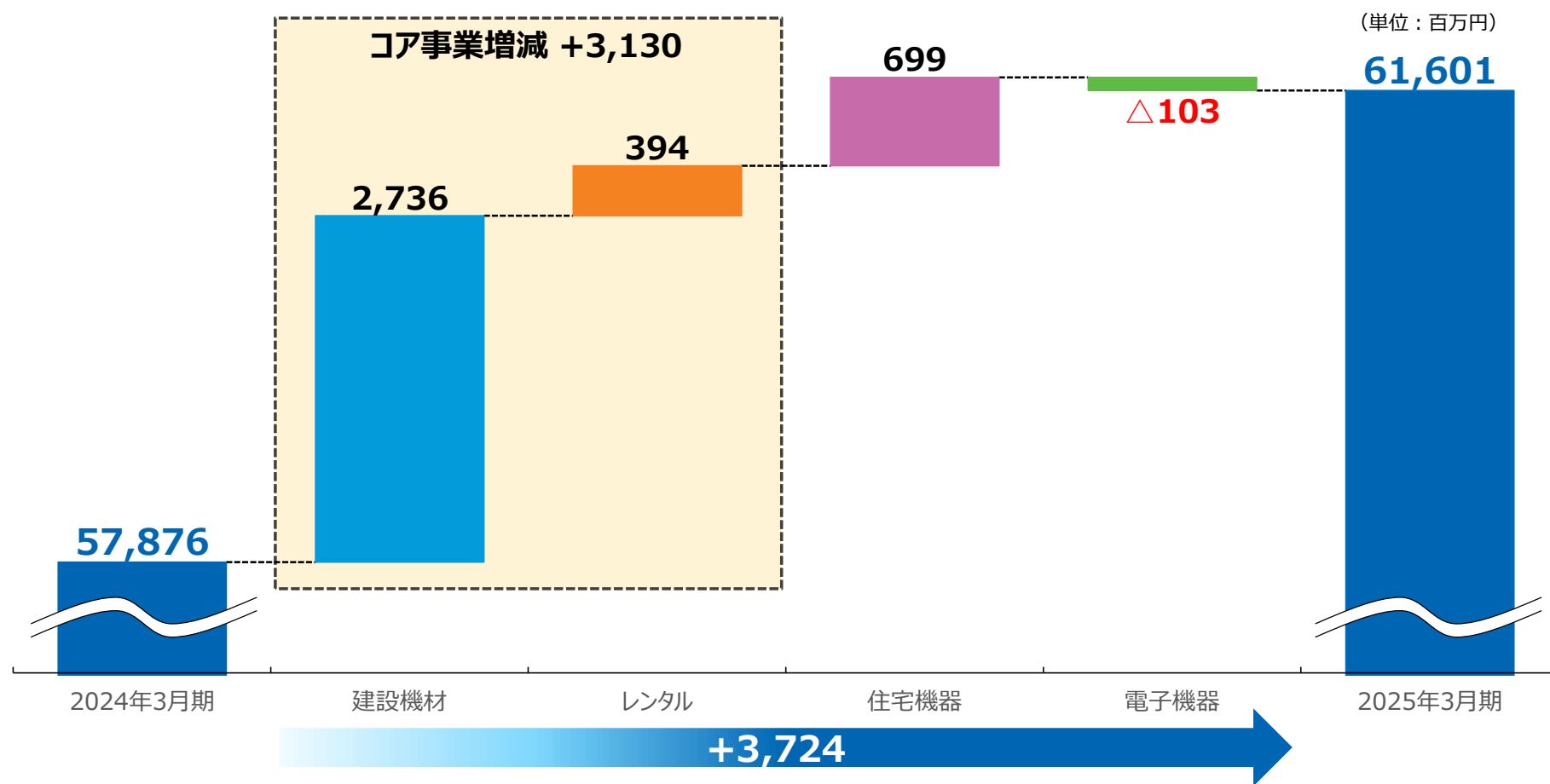
(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	実績	実績	前期比 増減率
建設機材関連	24,472 2,767	21,829 2,514	24,565 2,212	+12.5% △12.0%
レンタル関連	16,973 437	17,607 383	18,001 1,407	+2.2% +267.2%
住宅機器関連	13,780 △124	13,274 △462	13,973 △523	+5.3% —
電子機器関連	5,491 225	5,164 △65	5,061 △534	△2.0% —
調整	— 261	— 509	— 115	— —
全社合計	60,717 3,568	57,876 2,879	61,601 2,678	+6.4% △7.0%

Copyright © ALINCO, INC. All rights reserved. (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2025年3月期 セグメント別売上高増減

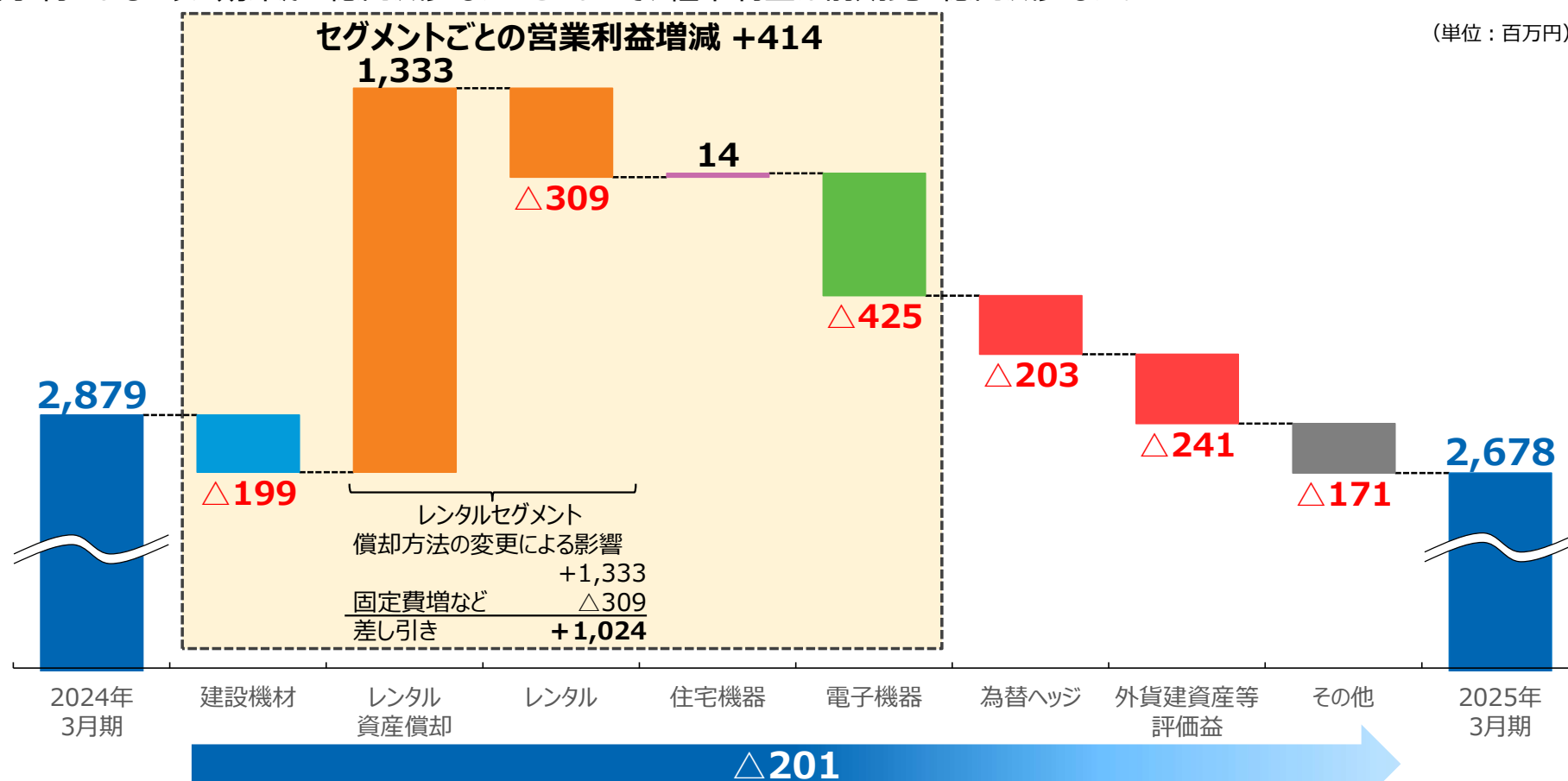
- ✓コア事業の売上高増31.3億円に牽引され、連結売上高は前期比37億円増加した。
- ✓コア事業は、仮設機材販売が前期比13.8億円増、物流関連製品の販売が同13.5億円増、レンタルが同3.9億円増となった。



2025年3月期 経常利益増減

- ✓ 2025年3月期からレンタル資産の償却方法を5年定率法から8年定額法へ変更したことにより減価償却費が13.3億円減少し、営業利益を下支えした。
- ✓ 為替予約によるヘッジ効果が2億円減少したことによって、経常利益は前期比2億円減少した。

(単位：百万円)



2025年3月期 連結財政状態



(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比 増減額 (増減率)
流動資産	43,894 (64.3%)	43,194 (60.9%)	△700 (△1.6%)
固定資産	24,420 (35.7%)	27,689 (39.1%)	+3,268 (+13.4%)
資産合計	68,315 (100.0%)	70,883 (100.0%)	+2,567 (+3.8%)
流動負債	19,860 (29.1%)	21,739 (30.7%)	+1,879 (+9.5%)
固定負債	17,910 (26.2%)	17,149 (24.2%)	△761 (△4.3%)
負債合計	37,771 (55.3%)	38,888 (54.9%)	+1,117 (+3.0%)
純資産	30,544 (44.7%)	31,994 (45.1%)	+1,450 (+4.7%)
負債・純資産合計	68,315 (100.0%)	70,883 (100.0%)	+2,567 (+3.8%)
自己資本比率	44.7%	45.1%	+0.4ポイント
D/Eレシオ	0.83倍	0.81倍	－

主な増減要因(百万円)	
流動資産	
たな卸資産	△715
固定資産	
レンタル資産への投資などによる 有形固定資産増	+3,169
負債	
長短借入金	+695
純資産	
親会社に帰属する当期純利益	+1,959
配当金の支払	△836

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2025年3月期 連結キャッシュ・フローの状況



(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	実績	前期比増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,685	5,424	+3,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,332	△5,560	△228
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,652	△103	△3,756
現金及び現金同等物の期末残高	6,622	6,783	+161
フリー・キャッシュ・フロー	△3,647	△136	+3,510

主な増減要因 (百万円)	
営業キャッシュ・フロー (収入の増加)	
棚卸資産の減少	+2,870
減価償却費	△978
投資キャッシュ・フロー (支出の増加)	
有形固定資産の取得による支出	△227
財務キャッシュ・フロー (支出の増加)	
長短借入れによる収入	△3,422

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

- ✓ 営業キャッシュ・フローは、建設機材関連事業において前期に計画的に生産した棚卸資産が減少したことが要因となり、前期比で収入増
- ✓ 投資キャッシュ・フローにおいては、「新型足場」を中心にレンタル資産への積極的な投資などにより有形固定資産が増加したことなどから、前期比で支出増



2026年3月期業績予想について

2026年3月期 連結業績予想



- ✓2026年3月期は売上高、利益共に前期を上回る計画
- ✓原材料価格は前期比上昇を見込み、また、為替は1ドル＝150円を前提とする。

(単位：百万円)

	2024年 3月期 実績	2025年3月期 実績			2026年3月期 予想		
		上期 (前年同期比 増減率)	下期 (前年同期比 増減率)	通期 (前期比 増減率)	上期 (前年同期比 増減率)	下期 (前年同期比 増減率)	通期 (前期比 増減率)
売上高	57,876	30,822 (+5.4%)	30,778 (+7.4%)	61,601 (+6.4%)	31,170 (+1.1%)	32,330 (+5.0%)	63,500 (+3.1%)
営業利益	1,781	1,313 (△3.9%)	882 (+112.8%)	2,196 (+23.2%)	1,320 (+0.5%)	1,780 (+101.8%)	3,100 (+41.2%)
経常利益	2,879	1,474 (△29.9%)	1,203 (+55.1%)	2,678 (△7.0%)	1,500 (+1.7%)	1,800 (+49.6%)	3,300 (+23.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,988	1,029 (△29.9%)	930 (+78.8%)	1,959 (△1.4%)	930 (△9.7%)	1,250 (+34.4%)	2,180 (+11.2%)

Copyright © ALINCO, INC. All rights reserved.

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2026年3月期 セグメント別業績予想



- ✓ 建設機材セグメントは、“購買からレンタルへ”のニーズ変化が継続するものの、消耗度の高い製品群には堅調なニーズが続く。利益面では材料価格の再上昇と物流コスト増から減収減益の計画
- ✓ レンタルセグメントでは、継続的な値上げや高粗利のアルミ製品の新規投入・稼働率の向上等で増収増益を計画
- ✓ 住宅機器セグメントは機械工具や建設ルートへの拡販、フィットネス関連の業務用ルート拡販で売上高の増加と赤字幅の縮小を図る計画
- ✓ 電子機器セグメントは主力の特定小電力トランシーバーや消防無線の買い替え需要に対応していくことで増収を計画。プリント配線板関連は、設備増強による得意先の多様化により売上高増を計画

(単位：百万円)

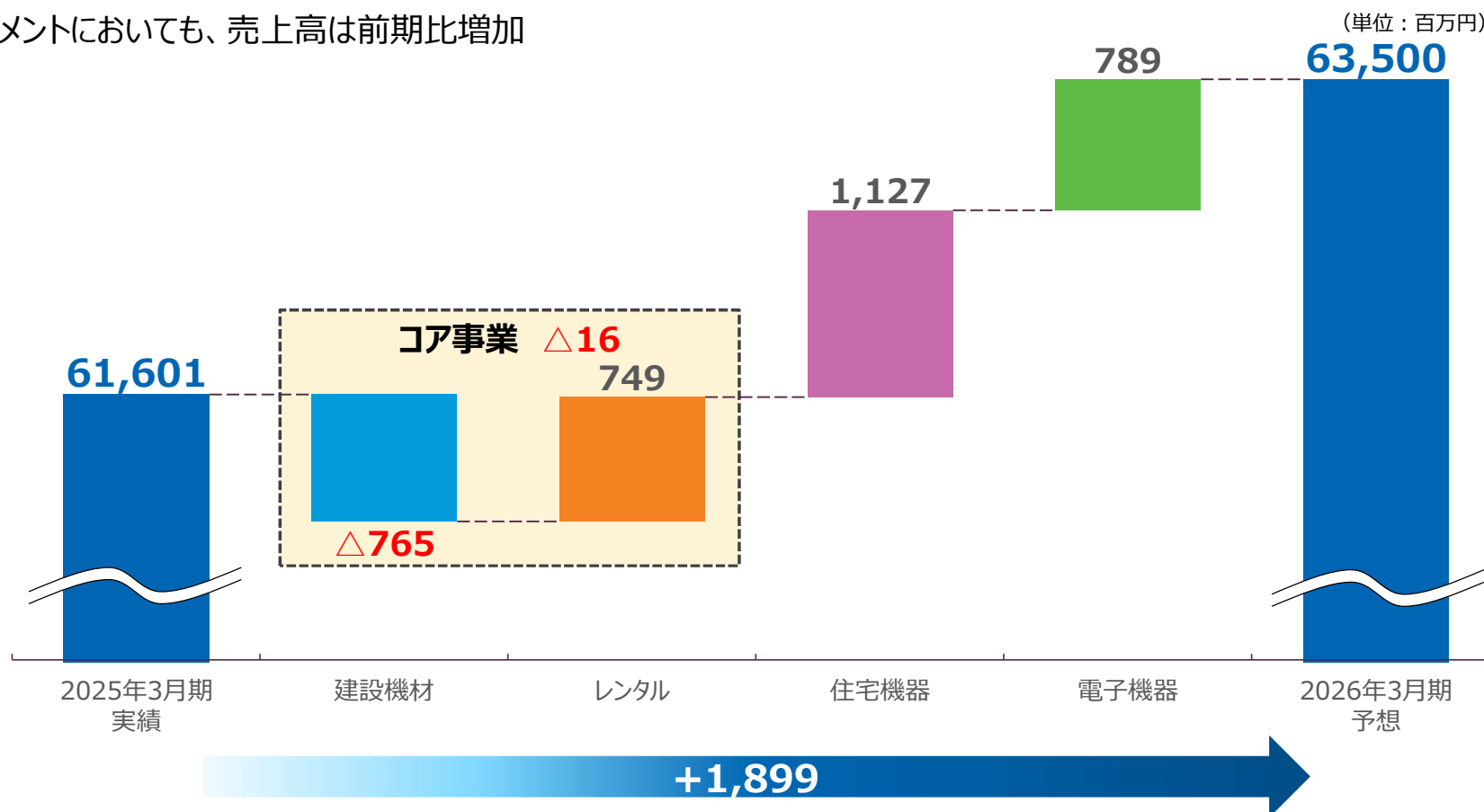
上段：売上高 下段：セグメント利益	2024年 3月期	2025年3月期 実績			2026年3月期 予想			
	実績	上期	下期	通期	上期	下期	通期	前期比 増減率
建設機材関連	21,829 2,514	12,495 1,328	12,070 884	24,565 2,212	11,750 1,075	12,050 978	23,800 2,053	△3.1% △7.2%
レンタル関連	17,607 383	9,025 759	8,976 648	18,001 1,407	9,080 159	9,670 1,295	18,750 1,454	+4.2% +3.3%
住宅機器関連	13,274 △462	6,896 △256	7,077 △267	13,973 △523	7,480 △209	7,620 △101	15,100 △310	+8.1% －
電子機器関連	5,164 △65	2,404 △325	2,657 △209	5,061 △534	2,860 △131	2,990 34	5,850 △97	+15.6% －
調整	－ 509	－ △31	－ 146	－ 115	－ 180	－ 20	－ 200	－ －
全社合計	57,876 2,879	30,822 1,474	30,779 1,204	61,601 2,678	31,170 1,500	32,330 1,800	63,500 3,300	+3.1% +23.2%

Copyright © ALINCO, INC. All rights reserved.

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

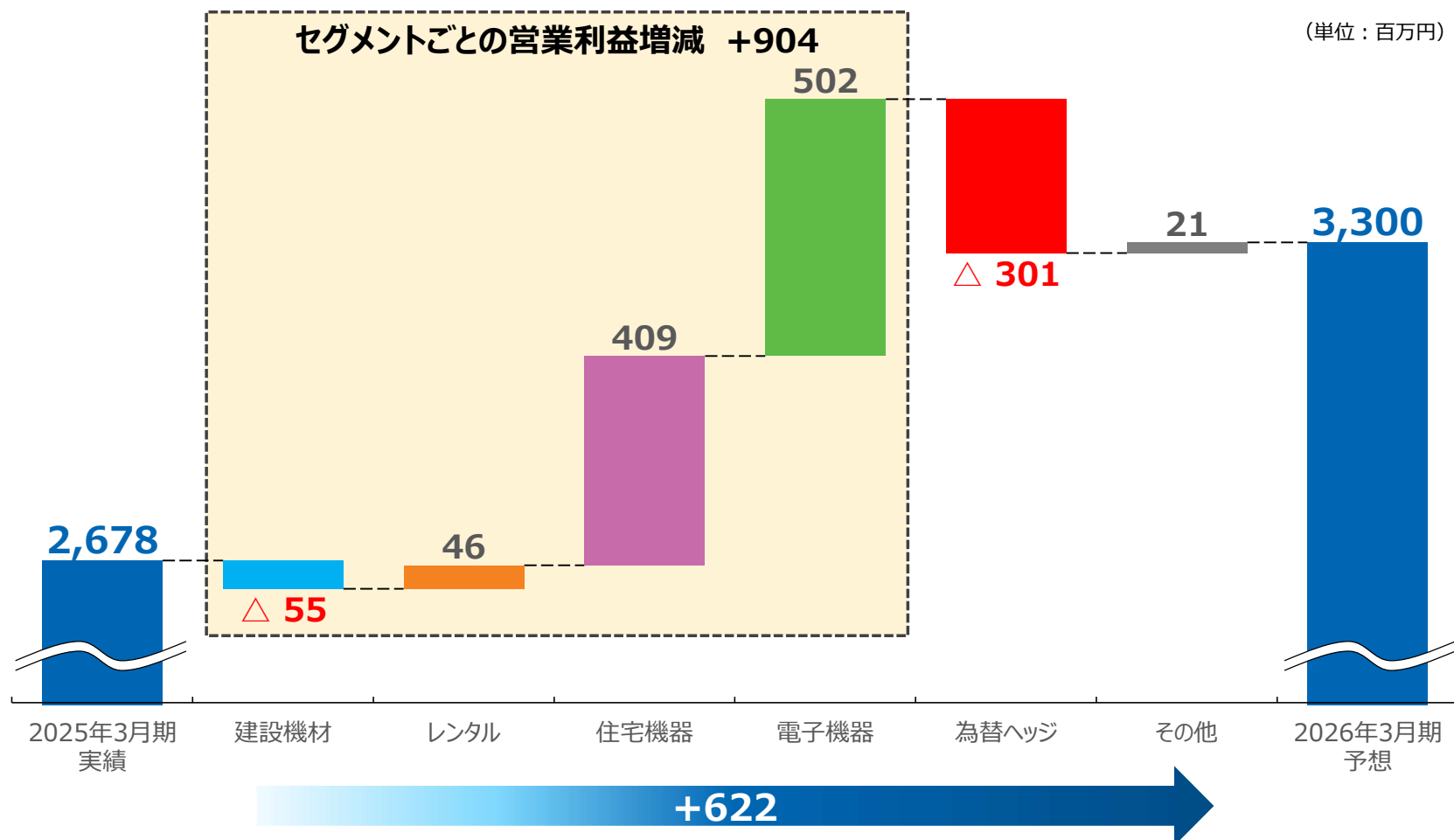
2026年3月期 セグメント別売上高増減予想

- ✓売上高は前期比18億99百万円増の635億円で計画
- ✓コア事業において“購買からレンタルへ”のニーズ変化が継続しているため、建設機材セグメントは前期比7.6億円減に対し、レンタルセグメントが前期比7.4億円増で相互に補完する計画
- ✓その他のセグメントにおいても、売上高は前期比増加



2026年3月期 経常利益増減予想

- ✓ 営業利益は、各セグメントの売上高増加と利益改善により前期比9億円増加
- ✓ 経常利益は、為替ヘッジによる為替差益が前期比3億円減少するも、前期比6億22百万円増の33億円を計画



2026年3月期 年間配当予想



✓ 利益配分に関する基本方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けている。

剰余金の配当について、安定的な配当の維持を基本方針とし、連結配当性向40%を目標として配当を実施していく。

なお、2024年4月3日に公表した「中期経営計画2027」において、剰余金の配当について過去の配当実績などもふまえ、従来の方針に加えて「中期経営計画2027」期間中は、1株あたりの配当額を前年度実績を下限として利益成長に応じて増加させる累進配当を実施することとしている。

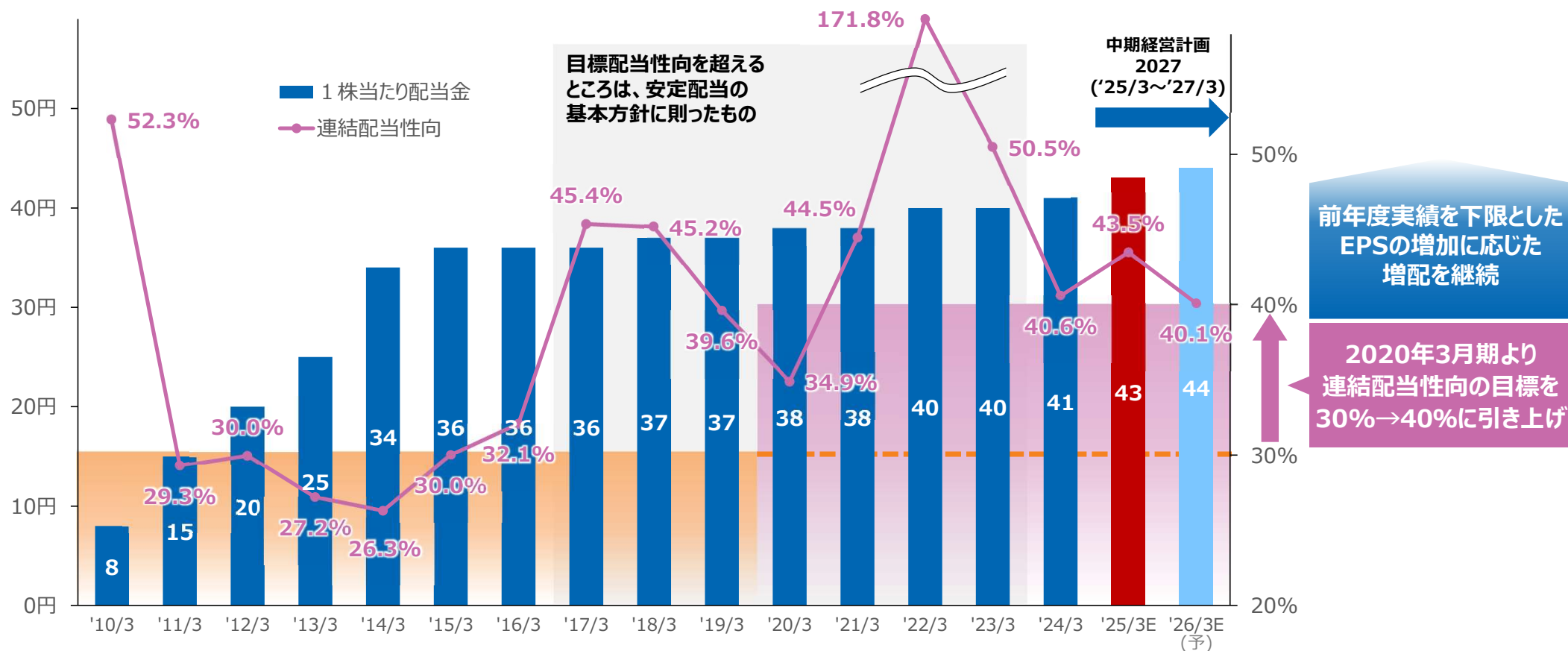
✓ 2026年3月期剰余金の配当

2026年3月期の配当金については、上記の利益配分に関する基本方針のとおり、連結配当性向40%の達成と累進配当の実施を勘案し、年間配当金は前期に比べて1円増配の1株あたり44円を予定している。

		2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
年間配当金(円)	第2四半期末	20.00	21.00	22.00
	期末	21.00	22.00	22.00
	合計	41.00	43.00	44.00
配当性向(%)		40.6	43.5	40.1

株主還元・配当方針

- 安定的な配当を基本方針とし、**連結配当性向40%**を目標
- 「中期経営計画2027」期間中(2025年3月期~2027年3月期)については、前年度実績を下限として一株当たり配当額を利益成長に応じて増加させる**累進配当**を実施



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社 経理本部 IR室

大阪府中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル

Tel : 06-7636-2220 ・ Fax : 06-6208-3701

E-mail : alinco-ir@alinco.co.jp